

- 8 温 室 實物 温室内の草木の茂れる有様
- 9 水 仙 實物
- 10 福 壽 草 實物
- 11 ゆ き 有様 つもつた有様 とける  
有様(切りがみと連粉)
- 12 氷、氷柱 實物
- 13 あられ ふるありさま、解ける有様
- 14 オンドルフ 實物につきて

## 小樽幼稚園の狀況

小樽幼稚園 三二 上 ふ ゆ

當幼稚園は私立小樽實科高等女學校及小樽實踐女學校内の一部に併置し、幼稚園としての設備充分ならず所謂家庭的の幼稚園であります。入園の幼稚は現在僅三十二名であります。幼稚は何れも元氣能く毎朝八時頃より昇園して居ます。園内に

入るや先づ、先生御はやう婆やさん御はやうと禮を述べ、靴をとり手袋外套を取り、帽子、かばん、お辨當は自分の名札のある處に持行き、夫々其處に置きまして室内に這入り、豫て設けの暖爐に據りて皆暖を採つて居ります。九時半始業、朝の挨拶、遊戯次に御話手藝等致して居ります。

毎年十一月より翌年三月頃まで雪の爲外出すること出来ません。然れども幼兒が孰れも雪を大層面白く感じて、少し位の寒を思はず屋外出遊を喜ぶのであります。晴天の日は外部の雪中で雪だるまを作り、又は旗採り或は兵隊遊等をしますが此頃は毎日の降雪にて雪遊は更に出来ません。

又天氣悪しく外遊出来得ぬ日は園内運動場に雪を運び來りて雪にて山を作り木の枝を挿して山に木を植ゑるまねを爲し、又女兒は茶碗を以て御馳走を作る遊をして喜んで居ります。

又近來に於ては降雪の爲、外出運動出来ぬ爲、

園内にて遠足と申しまして遠足の仕度を爲し、おにぎり御菓子等各携帯して來り、又室内にも木の葉の様な物を飾り付け教室を廣く片付け、其日一日は皆思ひくの遊方を自由にする様に致し幼児は之を以て何よりの樂と致して居ります。

毎月曜日には指の瓜を取りて居ります。又晝食は午前十一時半より始め、食事後は暫く暖爐を取巻いて暖を採つて居ります。

幼児は毎日午後一時或は一時半歸つて居ります。其晩は園内にて爲した事を父兄に話して父兄より褒められた事や、面白かつた事を翌日園に來て幼児と親しく話をして居ります。

以上當園には別に何等の設けもなく從て御參考になるべきものとて無之、洵に耻入候得共聊か申上候。何卒今後皆様より何分の御教示を賜はり度偏に奉懇願候。

先生一「今日の觀察に何を見せませう」

先生二「さあれえ」

先生三「困つて仕舞ふわ。何一つ買ふつたつて豫算もないんですもの」

先生四「ほんとに、何にも出来はしない。」

× × × × × ×

子ども一「こんな草がはえてるよ」

子ども二「小さな花が咲いてるわ」

子ども三「葉も面白い格好だれえ」

子ども四「根をぬいて見ようよ。面白い根だなあ」

皆「面白いなあ〜。」